

掛田自治協議会からのお知らせ

掛田の広場



第9号
2016年12月22日
掛田自治協議会
＜発行責任者＞
会長 佐藤隆昭



伊達市総合防災訓練

平成28年度伊達市総合防災訓練が、霊山町掛田地区で10月29日実施されました。今回は、震度7の地震が発生。土砂災害・家屋の倒壊・建物火災・林野へ火災が延焼、ライフラインにも甚大な被害が発生したとの想定で実践しながら訓練が行われました。訓練内容は、福祉避難所を「孝の郷」で、霊山運動広場で消防団による中継放水・放水訓練、山林に延焼したという想定で県防災ヘリによる消火訓練、陸上自衛隊の救援車、衛星通信移動無線車、地震振動体験車、煙体験装置等が展示され体験ができました。

霊山中学校ではボランティアセンターと避難所開設訓練。校庭では土砂災害救助(災害救助犬による)・福島県警バイクによる被害状況調査、自衛隊による炊事実演、日赤奉仕団による炊出し訓練。災害ライフライン支援車両の展示など多岐に亘り取組まれました。いつ起こるか判らない災害への備えが大切です。

掛田自治協議会では、今年度から行政区に安否確認指揮系統の確立や防災訓練が出来る「自主防災組織」を立ち上げようとモデル地区を選定して取組んでいます。皆さんの声をお寄せください。

(森久保 操)



各部会からの報告

掛田自治協議会本部

【第2回「自衛消防訓練」を終えて】
11月11日、午後三時より、消防署員の指導の下、「霊山中央交流館自衛消防訓練」を実施しました。当日は文学講座の皆さんにもご協力いただき、約40人が参加しました。

担当者が自分の役割を確認した後、調理室より想定出火・火災発生放送・初期消火・119番へ通報・避難誘導、と緊迫した空気の中、全員が真剣に取り組みました。講評では、避難途中の段差の所で「お互いに助け合う姿勢が素晴らしかった」とお褒めの言葉をいただきました。その後、消火器の使い方説明を受け、館内の非常口の確認をしました。

訓練を終えて、私たちと利用者みなさんの、日頃からの防災意識が大切だと思いました。交流館を利用する時にはぜひ、非常口はどこかな?と意識してみてくださいね。

(小野 信江)



消防署員から説明を聞く
(霊山体育館にて)

中町芋煮会

掛田中町行政区主催で11月20日(日)芋煮会を霊山中央交流館で行いました。参加者は46名でした。

芋煮は各班長さんが中心になり朝から準備をしていただきました。カラオケ・〇×(マルバツ)クイズがあり楽しいひと時を過ごすことができました。健幸スタジオ1、2はキレイで使い易いテーブル・イスがあり、また厨房もすぐ隣にありとても使い易く便利でした。

中町に住み始めた佐藤クニ子さん、西戸スミエさんの自己紹介もあり皆さんと親睦を深めることができました。

参加された全員に景品が当たるお楽しみ会があり盛り上がりしました。景品はどれも日常生活でよく使う品です。ちなみに私は立ったままで使える靴べらでした。

(大友 俊範)



キムチ料理教室

寒い冬はキムチ料理が体を温めてくれますね。

12月11日「キムチ料理教室」に20名の参加がありました。講師は石田の渡辺順子さん、韓国から嫁いで二十八年になり、すっかり石田人です。キムチというと赤い唐辛子だけと思えますが、本場ではエビの塩辛、イワシエキス、にんにく、せり、人参、ネギ、だしは牛肉ダシだと実に多種の材料を使用します。

その材料の豪華さに驚き、食文化の奥深さを学びました。塩漬けした白菜の一枚一枚に調味料を挟み込み、真っ赤な唐辛子で本場のキムチに挑戦しました。キムチは漬け込む期間で、味の深みが増します。また今、見直されている発酵食品でもあり、医食同源で寒い冬に理にかなった優れた料理です。皆さんも上手にキムチを使い、寒い冬を楽しみましょう。

(歌川 多賀子)



野菜のカット



味付け材料の仕込み



塩漬け白菜に味付けを塗り込む

■掛田初詣情報
一年の計は元旦にありといわれるように、一年の始まりにその年が望みどおりになるように神社などにお参りすることが初詣です。掛田では次の三つの神社で初詣の準備をしています。参拝してみたいかでしょうか。

亀岡神社 西裏
秋葉神社 北町
愛宕神社 八幡内

■1月14日 方言落語 桂幸丸師匠 公演
午後6時開演(霊山中央交流館 大ホール)

お問い合わせ先
霊山中央交流館
電話 586-1314 FAX 586-3391
e-mail kakedajichikyougikai@aioros.ocn.ne.jp

編集後記

今年も年末を迎えました。月日のたつのは早いものです。掛田自治協議会が今年4月に設立し皆様方と役員のご協力で私たちの「自治協議会」として「自立」することができましたこと、心より感謝申し上げます。

「掛田の広場」では、各活動内容をより身近な親しみやすく分かりやすい広報誌にしていきたいと思えます。身近な「記事」をいつでも募集しております。霊山中央交流館まで投稿してお寄せください。

どうぞ皆様、良いお年をお迎えくださいませ。

(長谷川 貞夫)



コラム

「暖を囲みながら…」
今年も早いもので十二月となりました。寒さも本格的となり、こたつやストーブが恋しくなってきました。ひと昔前までは、こたつは炭を、ストーブは薪を燃料としていたことが主流でした。今では安全性や利便度では格段に向上している電気や灯油が使われています。以前の燃料は地域から供給されており、産業としても貢献していました。徳が森の山火事も整備次第ではもう少し被害が抑えられたと思います。まちなかサロン「ヨッテミ」には薪ストーブがあります。炎を見ながら暖をとることは風情があり心も暖まるような気がします。暖まりながら燃料の見直しも考えてみたいものです。





ヨッテミのにぎわい



この焼き芋
最高ノピース

中町ポケットパークの焼き芋

講演後は参加者と一緒に五ヶ所あるポイントを巡り、地元産の焼き芋や、りんごを使ったスイーツを食べながら、写真撮影や質問等にに応じてくれて、なすびさんの気さくな人柄に参加された方々は、すっかりファンになったようでした。

今回は、祝日の開催なので、参加していただけたかと不安もありましたが、沢山の皆様にご参加を頂く事が出来ました。ありがとうございました。

(引地 静子)

【かけだ健幸フェスティバル】11月23日開催！
今回はお笑い芸人として、ご活躍のなすびさんをお迎えして、四度目の挑戦で成功したエベレスト登頂について熱く語って頂きました。TVで見えるなすびさんとは違う表情で話す体験談などに、皆様ほとんど引き込まれていき、素晴らしい講演会となりました。

健幸フェスティバル



講演 「自然と共に生きることで身も心も健康に」
～ エベレスト挑戦で学んだ事 ～

なすびさんは4回目の挑戦で、念願のエベレスト登頂に成功しました。気さくで面白い人ですが、とてもまじめな方でした。それが人気の要因なのでしょうね。これからも福島ビーアールをお願いします。



昭和63年には、本ノ丸の試掘調査が行われ、本ノ丸の全域に遺構が存在したことが確認されたということです。みんなで山頂から掛田の街並を眺め、しばし、昔の栄華を偲びました。下山後、温かいお茶をいただきながら、大友靖子さんの、懸田御前にまつわる昔話を聞きました。身近にある茶白山は、四季折々に私たちに楽しませてくれます。桜の時期には、歴史を偲びながら登ろうと思います。

(栗花 ソヨノ)

掛田歴史探訪(茶白山登山)

【掛田歴史探訪・茶白山登山】に参加して！
冬空の下、11月23日開催の掛田歴史探訪に参加しました。枯葉の茶白山に登る途中、四季咲きの桜が私たちを待っていてくれました。落ち葉を踏みしめながら、山頂を目指しました。頂上では、川俣町の日本考古学協会会員の高橋圭次先生による懸田城の歴史のお話を聞き、頂上の地形から曲輪、通路、虎口、土塁、切岸などが確認できました。



研修会の様子(新潟県見附市にて)



年間来場者数100万人突破の道の駅「パティオにいがた」(パンフレットより)

【先進地視察研修 (報告)】
11月15日、新潟県見附市への視察研修に行政推進員、自治協議会、伊達市より13名で参加しました。見附市は新潟県のどまん中に位置し、人口四万二千人の「まち」です。

健幸都市づくりの先駆けであり、独自の取り組みとして「地域コミュニティ」、「スマートウェルネスみつけ」等、社会参加(外出)できる場づくり(ハード整備事業)、ソフト面では市民が企画運営する「仲間作りは生きがいづくり」「生きがいづくりは健康づくり」とし市民仕掛け人が多彩なメニューで交流促進等、事業を展開しています。見附市ならではの大切な宝を大きく育てて日本の「オンリー・ワンのまち」を目指している事例等を学びました。

帰りには道の駅「パティオにいがた」を見学。店内には地元産の野菜や地酒等、地場産品が豊富に取り揃えられ、多くの買い物客で賑わっていました。

(渡辺 隆)



霊山町文化祭・
シルバー作品展
10月29日～
30日開催



今年初めての各小学校からの
展示コーナーができました。